

「正調河内音頭」を継承しよう

伝統芸能コース

河内音頭

目的

- ・地域に根ざした伝統芸能を知り、大阪の文化の継承・振興を図る。
- ・地域文化の奥深さを知り、興味と関心を促す。

効果

- ・現在の一般的な「新河内音頭」と、門外不出の「正調河内音頭」の音楽的な違いを知り、伝統の本来の姿を知る。

到達点

- ・正調河内音頭・新河内音頭を習得し、盆踊り等で実際に踊る。



事前学習

流し節正調河内音頭保存会のホームページなどで予備知識をつけておく。

ワークショップの流れ (3日間×1コマ/日)

門外不出の「流し節正調河内音頭」の歴史の講話
常光寺の祭りをビデオ鑑賞



「流し節」の模範演技鑑賞



踊り・音頭・太鼓のパートにわかれて講師の指導



「新河内音頭」を節まわしに合わせて踊り演習



全パートに講師が入り、通し演習



生徒だけで「流し節」と「新河内音頭」を演奏及び舞踊演習

事後学習

地元開催の盆踊りに参加する。



講師
流し節正調
河内音頭保存会
ながしぶしせいちよつ
かわちおんどほぜんかい

略歴

1952年設立。今に伝わる河内音頭の起源とされる「流し節」正調河内音頭の伝統継承を行っている。現在会員50名。毎年8月23・24日の地蔵盆、八尾・常光寺境内に近隣はもとより遠方からも大勢が来場し、門外不出の「流し節」を踊る。平成8年には環境庁「残したい日本の音風景百選」に選定された、大阪を代表する伝統芸能。

advice points

- 会場は、和室など土足厳禁の場所を準備する。
- 浴衣を着て受講すると、より臨場感を味わえる。

…ワークショップを実施して…

講師の感想

共通の目標で取り組む地域の伝統芸能(流し節正調河内音頭)はかなり難しいと思うが、それだけに達成感・充実感があり、喜びも大きかったであろう。門外不出の伝統文化の継承のみならず、将来を担う青少年の人間教育の場としても期待を寄せたい。

先生の感想

生徒たちの関心と能力が感じられた。地域の伝統文化を継承することの重要性、文化とは何かがよくわかった。講師の方々の指導も懇切丁寧で、生徒にとって有意義な時間であった。見るのと実際に踊るのでは、困難さが全く違うことを生徒たちは実感したと思う。

生徒の感想

- ・音頭の上と下の句のリズムと節の違いがとても難しかったが、とても楽しいと思えた。
- ・流し節はリズムが難しいが、「振り」や「間」のとり方がおもしろかった。
- ・夏祭りなどで踊ったことがないが、これからは踊りたいと思う。
- ・地元の踊りぐらひは知っておいた方がいいと思った。

より発展的な ワークショップを 実施するために

- 社会科を受け入れ科目とし、日本史・郷土史と合わせて学ぶ。
- 音楽を受け入れ科目とし、西洋音楽との違いを学ぶ。
- 地元で開催される盆踊りで踊る。